

4月から開始 「取手市の新しい学校教育三つの取り組み」

問 指導課 ☎内線2041

取手市立中学校の生徒の自死事案について

平成27年11月、取手市立中学校の生徒さんが、学校におけるいじめと不適切な指導により、自ら命を絶たれました。市教育委員会といたしまして、一人の生徒さんのかけがえのない命をお守りすることができなかったことを改めておわび申し上げますとともに、お亡くなりになられた生徒さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。また、市教育委員会の、ご遺族の皆さまに寄り添おうとしない不適切な対応は、長年にわたり二重のご心労とご心痛をおかけしましたこと、当該中学校平成27年度卒業生ならびに保護者の皆さま、市民の皆さまには、ご不安、ご心配をおかけしましたことを、改めておわび申し上げます。

市教育委員会や市内全小中学校は、二度とこのような悲しい事案を起

こすことのないよう、深い反省のもと、全力で再発防止策に取り組んでいきます。

令和2年1月18日、取手市いじめ問題専門委員会から取手市立中学校の生徒の自死事案に係る再発防止策の提言が示されました。市教育委員会は、再発防止策の全てを厳粛に受け止め、一つ一つの施策にしっかりと取り組んでいきます。子供たちが安心・安全に、健やかな学校生活を送ることができる環境づくりを最優先に、未来を担う「とりでの子」を育てるために、4月から、「取手市の新しい学校教育三つの取り組み」を進めていきます。

令和2年3月 取手市教育委員会

新しい三つの取り組み

全員担任制(中学校)、チーム指導(小学校)の導入

複数の教員がさまざまな視点で児童生徒を見ることで、小さなサインや変化に気付けるようにします。

◆全員担任制(中学校)

担任を固定せず、学年の教員が交代で担任の業務を行います。学級を担当する教員が代わるサイクルは、数日・1週間・2週間・1カ月など、そのときの学年・学級の状況に応じて変わります。また、生徒・保護者が相談しやすい教員を選んで面談ができるようにします。

※開始初年度は1・2年生を対象とし、3年生は進路指導を考慮し、令和3年度から導入します

◆チーム指導(小学校)

学校や地域、学年・学級の状況、児童の発達段階に応じて、一部の授業、朝の会、帰りの会などを、学級担任以外の教員も担当します。学級担任以外の教員が担当する時間を、発達段階に応じて低・中・高学年と徐々に増やしていくことで、中学校の全員担任制にスムーズにつながられるようにします。

教育相談部会システムの導入

全小中学校に教育相談部会を新たに設置し、全員担任制、チーム指導で気付いた児童生徒の悩みや困りごとなどを、定期的に開催する教育相談部会で具体的な対応などを協議し、対応していきます。教育相談部会には、学校の管理職・教育相談担当教員・養護教諭や、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなどの専門職員も参加し、アセスメント・プランニング※をした上で、教職員がチームで児童生徒の相談・支援を行います。

※アセスメント…児童生徒の情報を集め状況を把握する
プランニング…アセスメントに基づいて支援計画を立てる

2学期制の導入

学期の期間が長くなるので、学校教育活動に余裕が生まれ、児童生徒の負担が減り、じっくりと学習に取り組むことができます。教員は児童生徒に向き合う時間が増加し、児童生徒の成長をきめ細やかに見守ることができま



2学期制のスケジュール

第1学期 4月1日～10月第2月曜日	第2学期 10月第2月曜日の翌日 ～3月31日
------------------------------	--------------------------------------

※長期休業日(学年始休業日、夏季休業日、冬季休業日、学年末休業日)に変更はありません。令和2年度は東京オリンピックの開催による祝日(スポーツの日)変更のため、第2学期の始業式は10月12日(月)に行います

「全員担任制」学ぶ講演会を開催

1月14日、取手ウェルネスプラザで麴町中学校(東京都千代田区)の工藤勇一校長を招き「全員担任制」に関する講演会・意見交換会を開催しました。小中学校教員など約70人が参加し、学校への導入について考えました。

工藤校長は、全員担任制の効果について説明。その後、同氏を交えて意見交換会を行いました。



「全員担任制」を導入している先進校の講演を聞く小中学校教員

取手を舞台とした文芸作品で有名なものに、長谷川伸の戯曲「一本刀土俵入」(『中央公論』昭和6年6月号)があります。親方から追放された相撲取り駒形茂兵衛は、取手宿の安孫子屋の二階から、くし・かんざし・巾着ぐるみ有り金全部をお薦(すす)めからもらい受けます。作者の長谷川伸は、明治17(1884)年に横浜に生まれました。父親が事業に失敗したため、小学校を中退して働き、やがて新聞記者として、文筆活動を始めました。話題作を次々と発表して股旅ブームを起し、昭和38(1963)年に79歳で亡くなりました。絵は、昭和6年の「一本刀土俵入」初演時の舞台の書割(背景画)です。作者の小村雪岱は、東京美術学校(現在の東京芸術大学)で日本画を学び、舞台美術などの分野でも活躍しました。「一本刀土俵入」の舞台装置を置き受けた小村雪岱が取手を訪ねると、長谷川伸の設定にそっくりな茶屋旅館を目にしたそうです。しかし作者の長谷川伸は、

ふるさと探訪 120

「一本刀土俵入」と取手

問 埋蔵文化財センター ☎73-2010

安孫子屋のモデルは「三州田原の木戸屋という宿屋」だったと、随筆『生きていく小説』に書いています。三州田原は現在の愛知県田原市で、かつて長谷川伸は、土木仕事でこの地の宿屋だった木戸屋に滞在していました。長谷川伸が思い描いた三州田原の木戸屋にそっくりな宿屋が、取手にもあったようです。



小村雪岱が描く「一本刀土俵入」の舞台装置の原画(所蔵・写真提供 埼玉県立近代美術館)

■平成20年から連載してきた「ふるさと探訪」は、今回で終了となります。ご愛読ありがとうございました。